

宗教とエネルギーの地政学から見た 21 世紀

- 1、 宗教とエネルギーの地政学とは
 - 1) 化石エネルギー資源の偏在と生産コスト (第 1 表)
 - 2) 化石エネルギー資源の「所有」と「利用」。その「認識」の相違点
 - 3) 「偏在」と「認識」の相違から起こる対立、抗争

- 2、 宗教と政治 (第 2 表)
 - 1) ユダヤ教 政教未分離
 - 2) キリスト教 政教分離
 - 3) イスラーム 政教不分離

- 3、 イスラーム世界と「近代化」(第 3 表)
 - 1) イスラーム創成期 神 (アッラー) — 預言者 — ムスリム
 - 2) イスラーム文明の盛衰 神 — クルアーン — 君主 — ムスリム & 異教徒
 - 3) ナショナリズムの功罪 西欧的政教分離政策を追及

- 4、「正義の戦争」と「聖なる戦争」(第 4 表)
 - 1) 旧約聖書 「エルツ・イスラエル」(イスラエルの地)「ヨシュア記」
(聖絶の教理)
 - 2) 「新約聖書」自衛権放棄とローマ帝国国教・十字軍派遣との葛藤
 - 3) 「クルアーン」(コーラン) イスラームを侵略から守る (ジハード)
 - 4) イスラエルとアメリカを結んだプロテスタント「福音派」(第 4、第 5 表)

- 5、「石油文明」から「脱炭素文明」の 21 世紀
 - 1) 薪炭から石炭、石油、そして脱炭素エネルギーへ (第 6 表)
 - 2) 「水素・核エネルギー時代」の新経済学 (第 7 表)
 - 3) 水素を平和なエネルギーにするために

以上

最首公司

〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-2-1 日本プレスセンタービル 8 4 7 号室

最首事務所 TEL:03-3580-1226 FAX:03-3580-1445

E-Mail:saishukoji@nifty.com